



栗原市社協

第37号

平成25年8月16日発行

金成支所だより

編集と発行 ● 社会福祉法人栗原市社会福祉協議会 金成支所

〒98915171 栗原市金成沢辺町沖200 0228-421248 0228-4212959

防災避難訓練

～沢边上地区～

去る6月23日(日)、昨年に市社協の防災まっぷ作成事業で作成しました防災まっぷに基づいて、初めての防災避難訓練が行われました。

事前に毎戸へ文書でお知らせしていましたが、子どもから高齢者まで予想以上の100名近くの方に参加して頂くことができました。準備も大変でしたが、自主的に参加した中学生もおり、防災に対する意識の高さを感じた訓練でした。



訓練の様子

班名	班長	人数	備考
神井1	下平	25	25名(高松町)
神井2	鈴木	9	0名
神井3	佐藤	10	0名(神井以外)
I-1	清水	8	6名(高松町)
I-2	佐藤	9	2名
I-3	下平	3	0名
I-4	佐藤	19	6名
I-1	田中	6	15名(高松町)
I-2	佐藤	18	4名
I-3	大友	12	3名(高松町)
I-4	中村	20	0名
計		127	

お茶っこ会・婦人自主防災会

～姉齒下地区社協～

去る、6月23日(日)お茶っこ会を開催致しました。

今回は藤渡戸ボランティア会の石川美砂代表他7名による、和・洋・中の踊りや歌で、皆さんを楽しませていただきました。毎回恒例の地元ボランティアさんとの食事会も皆楽しみにしています。

また、今年度は独自の婦人自主防災会を立ち上げました。初めての地域活動として、一軒一軒を歩き地域の防犯防災を呼びかけました。



婦人自主防災の活用の様子

お茶っこ会

～下片馬台地区社協～

お茶っこ会の内容は毎回大変悩みながら様々な企画をしています。去る5月29日には若柳警察署の交通課長さんから「おれおれ詐欺」と「高齢者の交通事故対策」について講話を頂きました。6月11日には、ビーズアクセサリー作りを、こどもの森代表・長柴幸江氏よりご指導頂き、楽しいひと時を過ごしました。この様な機会を通して情報を共有できるお茶っこ会を皆楽しみにしています。

「みなさん気を付けてくださいね」



「ビーズアクセサリー作り、楽しいね」



ボランティアとこどもの祭典

とき 平成25年9月7日(土) 10:00~13:30
 ところ アスナル・わかやなぎ



みんな！
待ってるよ！

日程変更になりました

地域の様々な世代の人達と交流し、地域との繋がりや絆を深め「共に支え、共に助け合い、共に生きる」地域づくりとして開催します。緑日コーナーや体験コーナーが盛りだくさんです。是非、ご家族の皆さんとご近所の方やお友達をお誘いの上ご来場下さい。みなさまのお越しをお待ちしております。

- 10:00 にんぎょうげき 人形劇
 11:00 とうじょう 光源クリライザー 登場！
 12:30 えんぶ ぜんかい よさこい演舞～パワー全開～
 ※各体験コーナーは10:30から始まります。

体験コーナー

- プラネタリウム
- かつらぎたいけん 甲冑体験
- てんじたいけん 点字体験
- チャンレンジコーナー
- 昔あそび
- バルーンアート
- わかやなぎしぶ 若柳支部コーナー など

緑日コーナー

- スーパーボールすくい
 - おかしをつかみどり
 - ボーリング
 - ストラックアウト
 - よみき 読み聞かせ など
- ※若柳図書ボランティアぼっかばかさんによる読み聞かせがあります。お楽しみに!!

★パンなどの食べものについては、ゆうりょう 有料となります。

★授乳コーナー・休憩コーナー等も用意しております。

★上靴をご持参下さい。

*予告なく各コーナーの内容が、変更になる場合があります。その際は、ご了承ください。



主催：社会福祉法人 栗原市社会福祉協議会 栗原市共同募金委員会 後援：栗原市 栗原市教育委員会
 主管：「ボランティアとこどもの祭典」実行委員会 栗原市民生委員児童委員協議会主任児童委員会
 共催：栗原市ボランティアセンター 栗原市ボランティア連絡協議会

金成生活相談所

日常生活の困りごと、心配ごとはございませんか。

相談は無料、秘密厳守となっておりますので、お気軽にご利用ください。



《開設日》毎月第2、第4金曜日
 平成25年 8月23日(金)
 9月13日(金)
 9月27日(金)
 10月11日(金)
 ※午前9時30分～11時30分

《場所》

栗原市金成総合支所
 やすらぎセンター内

金成中学校 1年生福祉体験学習

去る6月27日(木)、午前授業の2時間を使い、金成中学校1年生55名を対象に目隠し歩行と車いす体験学習を行いました。1組と2組で、交互に各会場毎に社協職員の説明をよく聞き、校舎内をコースにしての実技体験に真剣に取り組んでいました。普段ふれる事のない福祉用具にとまどいながらも、介助される役・介助する役を体験し、いい体験になったとの感想も聞かれました。午後からは、1年生担任の先生方指導により、高齢者疑似用具を装着しての体験も行いました。

